



# 荒池ふるさとクラブ通信



URL : <http://www.geocities.jp/araikefurusato/> E-mail : [araikefurusato@hotmail.com](mailto:araikefurusato@hotmail.com)

発行 : 荒池ふるさとクラブ 平成 24 年度 冬季号

平成 25 年 3 月 22 日

第 18 号

## 荒池ふるさとクラブ 冬の活動報告

今回は、平成 24 年 11 月 18 日 ~ 平成 25 年 3 月 17 日のクラブ活動をお伝えします。

### ベンチの補修と散策路の整備

(定例活動)

11 月 18 日(日) 展望台(標高:60.8m)のベンチや尾根道の階段の腐食した角材を新品に取替え、整備しました。

階段の角材を新材に交換中



### 収穫祭 (定例活動)

12 月 2 日(日)「太陽と大地の恵み」に感謝! 楽しく、賑やかな「収穫祭」でした。

元気な子供たちの餅つき

みんな笑顔



### ミニ門松、しめ縄作り (定例活動)

12 月 16 日(日) ミニ門松作りに、70 人超(小学生を含む)の参加者が楽しく取り組みました。門松を仕上げた後に、しめ縄作りに駆けつける人もいました。



ミニ門松作り



しめ縄作り

### 竹林の整備 (定例活動)

平成 25 年 1 月 12 日(土) コナラ広場の北側のマダケ林の間伐(1、2 年生の竹を除く)を行ないました。

伐採したマダケは、竹道(南門 炭焼き広場区間)の両側の垣根を更新する時に、胴縁として利用します。

### 二つ池の池干し (定例活動)

荒池緑地の二つ池は枯渇状態になっていましたが、平成 14 年度に上池(周囲 20m)、平成 16 年度に下池(周囲 30m)が、地域市民・名古屋市・「荒池ふるさとクラブ」の人々の手作業によって一部復元されました。

その後、平成 18 年度に、名古屋市の「オアシスの森」整備事業として、本格的に修復され、田んぼ 2 枚と湿地 1 枚が復活しました。「荒池ふるさとクラブ」は平成 19 年度から、二つ池を水源とする田んぼで「稲作」を続けています。

1 月 20 日(日)「二つ池の復元後 10 年経過」を契機として、天白土木事業所、なごや生物多様性保全活動協議会と協働で、上池と下池の池干し、水生生物の調査、池の土手の水漏れ点検を実施しました。

下池畔で始業ミーティング



下池で生き物を探索



採集した 生き物を観察中



透明鱗(変種) のフナ稚魚 ( )



炭焼き窯の改修工事



どうぶち  
胴縁（横柵）を  
取り付けた

「炭焼き窯改修工事」が完成間近となり、炭焼き再開に備えて、竹炭の原料＝モウソウ竹を伐り出しました。

モウソウ竹の伐り出し



### 炭焼きと竹林の整備（定例活動）

3月9日（土）改修窯の初炭焼き



午前の作業：  
垣根（南門 炭焼き広場区間）の天端材用に、モウソウ竹40本を伐り出し。

午後の作業：  
清々としたモウソウ竹林の造成を目指して、林内に共生しているマダケを伐採・整理しました。

### 巣箱の整備と野鳥観察

（定例活動）

2月9日（土）好天に恵まれ、午前中、40数名（子供15名含む）が、荒池畔や農道で、アオサギ、ダイサギ、オオタカなどの野鳥を観察しました。

もりもり隊員は、荒池畔や農道脇のごみ拾いにも熱心に取組みました。

午後は、2班に分かれて、巣箱の観察（野鳥の巣跡：2箱）・



荒池畔で 野鳥観察

整備を行ないました。



もりもり隊員がゴミ収集

### 竹炭の窯出し、緑地内の植物調査、マダケの伐採（定例活動）

3月17日（日）改修後の窯で「初炭焼き」。

焚口の燃焼管理が難しかったそうです。

竹炭  
（製品）

なまや  
生焼け炭  
（約1/2）



農業センターの「しだれ梅」が満開になりました。

午前の部：緑地内の農道、尾根道を散策し、「セリ」、「ツクシ」など、春の摘み草を楽しみました。

午後の部：モウソウ竹林内のマダケを伐採・整理しました。

### 今後の活動の予定

4月13日（土）緑地散策と竹林の整備

4月21日（日）竹林・雑木林の整備とたんぼの代かき

### あしがき

「荒池ふるさとクラブ通信 平成24年度 冬季号」を発行することができました。会員諸氏の応援に対し、心からお礼申し上げます。（記：KH）

### 竹道の垣根を整備（定例活動）



2月17日（火）竹道の両側の垣根は（土・日・祝）の開放日に散策を楽しめる方々にとっても安全上、必要な

施設です。（南門 炭焼き広場区間）の竹道の両側の傷んだ垣根を撤去し、胴縁を更新しました。

